

子育てサロン特別プログラム「せんせいとあそぼう」

2026年7月1日 実施報告

参加者：親子6組（子ども7名）

担当：道城先生 / 心理学部学生 14 名（C1 班・C2 班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 謝 / 保育スタッフ 下村・福本・高木・矢崎

テーマ：保護者の居場所づくり

お子さんたちだけでなく保護者のみなさまにも参加いただき、一緒に楽しんでもらう

タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:30～ おわりのあいさつ

今日の「せんせいとあそぼう」は、色を楽しむプログラムでした。恒例の「質問しちゃう!!」コーナーから始まり、続いて絵本「ころころころ」の読み聞かせがありました。どーじょー先生の「ころころ」「ころころころ」というリズムカルな声に合わせて、お子さんたちは声を挙げたり、絵本に描かれた色のついたマルをじっと眺めたりしていました。絵本を読み終わりと、どーじょー先生が、まるで絵本の中から出てきたような色のついたマルをホワイトボードに貼ると、大きなお子さんたちが面白がって集まり、マルに手を伸ばしていました。どーじょー先生からは子どもの視力について、1歳で0.2くらい、2歳で0.4～0.5くらい、小学校に上がる頃にやっと1.0になること、また、これに合わせるように小さなお子さんのための絵本は、赤が目立つように作られているなどの工夫がされていることについての説明がありました。

次に「どんな色がすき」の歌と一緒に歌った後、Tシャツの形をした画用紙に、指絵の具で色を付ける遊びを行いました。小さなお子さんの中には、指に絵の具をつけてもらおうと、足をパタパタさせて声を挙げて喜ぶ姿も見られました。大きなお子さんは自分の好きな色の指絵の具の入った紙皿を持ち上げて、じっとのぞき込む様子が見られました。

できあがったカラフルなTシャツを、洗濯バサミで洗濯ロープに並べて干すと、なんと、お部屋に虹がかかりました。最後に、みんなで一緒に歌「にじ」を歌いました。

きっと明日はいい天気、ですね！



子育てサロン特別プログラム「せんせいとあそぼう」

2026年4月22日 実施報告

参加者：親子8組（子ども8名）

担 当：道城先生 / 心理学部学生 16 名（A1 班・A2 班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 謝 / 保育スタッフ 下村・福本・高木・矢崎

テーマ：保護者の居場所づくり

お子さんたちだけでなく保護者のみなさまにも参加いただき、一緒に楽しんでもらう

タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:30～ おわりのあいさつ

今日は、今年度最初の「せんせいとあそぼう」です。このプログラムは、「まなびー」が保護者のみなさまにとっても居心地の良い場所になることを願って、お子さんとご一緒にご参加いただく内容になっています。

最初に「質問しちゃう！！」コーナーです。いろいろな質問が書かれたフリップから1枚選んで、保護者のみなさまに回答していただきます。「最近テンションがあがった出来事は？」「時間がないときによく作るご飯は？」などなど、回答のたびに拍手や歓声があがっていました。

次に、ふれあい手遊び「たべちゃうぞ」です。“かわいいほっぺ、かわいいおはな・・・”と、お子さんの顔をやさしくマッサージするような歌を歌いながら、お子さんと触れ合っていました。道城先生からは、お子さんのお昼寝前後に歌ってあげるといいとのお話がありました。次に、絵本「れいぞうこ」を読んだ後、手遊び歌「ミックスジュース」「おやつたべよう」を歌に合わせて一緒に踊りました。お子さんたちは繰り返しの動作をまねしたり、拍子に合わせて「ごーごー」と声をあげて飛び上がったりしていました。擬音語が出てくる歌は言葉が出始めているお子さんにとってもいい刺激になると、道城先生からの解説がありました。

最後にエプロンシアターです。はらぺこ怪獣が色々な食べ物をどんどん飲みこんでいく様子を、お子さんたちは不思議そうに見つめていました。道城先生からは、3歳くらいになると物語よりもエプロンの仕組みが気になり始めるとのお話がありました。道城先生がエプロン外してお子さんたちに見せると、確かに大きなお子さんたちが面白そうに集まってきていました。

とても楽しい時間となりました。ありがとうございました！

